

THE
CAMP
STYLE
COLLECTION



09 / 70
SITE

MEMBER

相馬拓也さん (31)
さとみさん (31)

SITE SPEC

■テント: フロストリバー/キャンプファイヤーテント ■タープ: フロストリバー/ノースウッドタープ、テントマークデザイン/ムササビウイング ■テーブル: スノーピーク/ワンアクションテーブル
■ヘリノックス/タクティカルチェア
■ランタン/ベトロマックス/HK500



自然にあるもので
自らギアを作り出す
キャンプスタイル。

最近は欧米ではやりのブッシュクラフト。自然の中にあるもので、ギアを作りながらキャンプを楽しむ。そのため、必要最低限のギアのみ持ち山へ向かう。相馬さんはブッシュクラフトを広めようと活動中のひとり。このときも、現地調達できる木を使い、いすやさまざまなギアを製作していた。まさに自然と共存する。そんなサイトである。



ブッシュクラフトの中でも比較的簡単に作れるのが、「ブッシュクラフト A チェア」と呼ばれるいす。布と木の枝で完成する。座面の布は巾着のような形状で、荷物も収納可能。今回使っていた布は、ブッシュクラフト仲間のイラストレーターが作ってくれたもの。ローワークやこのいすの作り方が描かれている。



ブッシュクラフターに愛用者の多いベイクーテント。今回は「フロストリバー」のものを設営。焚き火前提で作られたテントで、100%コットン製。特殊な織りで撥水性が非常に高い。実際に雨が降っても玉のように水を弾き、水分が染みることもない。同ブランドのタープを屋根のように付け、焚き火を楽しむ。



エイジングペイントで味のある一台に。

4～5年前から乗り始めた「トヨタ」のランドクルーザー。こちらは「80」と呼ばれる'80年代のモデル。2代目となる愛車は、エイジングペイントで迷彩柄にチェンジ。わざと錆びているかのような、色やデザインにしている。

NICE
IDEA
このテク
いただき!



1. <ウェットリングス>の斧を「パークリバー」がカスタムしためずらしいモデル。通常よりも持ち手が細身。ナイフはブッシュクラフター仲間のハンドメイド。2. 大人4人用のテント内。<ヘリノックス>のコットは、雰囲気合わせてノルディック柄の布を巻いた。3. フィンランドのブランド「ムーリッカ」のフライパン。ブッシュクラフト用で、もともと持ち手が長い。焚き火用のので長い枝を付けて使う。4. タープ下に「eno」のハンモックを設置し快適さアップ。